

2015年3月期 第2四半期決算説明会

2014年11月10日

株式会社SCREENホールディングス
取締役社長（COO） 垣内 永次

資料取り扱い上の注意

- ・本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は百万円単位で計算した結果を四捨五入して処理しております。



本日のアジェンダ

1. 2015年3月期 第2四半期業績
2. セグメント別業績概況
3. 財務状況について
4. 企業価値向上に向けた取り組み
5. 2015年3月期業績予想
6. まとめ

2015年3月期 第2四半期連結業績

	2014/3期					2015/3期				
	実績					実績			前年 同期比	8/5 予想
	1Q	2Q	累計	3Q	4Q	1Q	2Q	累計	累計	累計
(単位: 億円)										
売上高	593	518	1,111	521	726	524	600	1,124	13	1,130
SE	433	323	756	367	506	351	406	757	1	770
FE	41	68	109	33	55	49	40	90	▲19	90
MP	116	124	241	117	162	121	150	272	31	265
印刷関連機器(MT)	100	104	205	101	132	102	127	229	23	226
プリント基板関連機器(PE)	15	19	35	16	30	19	23	43	7	39
その他(外部売上のみ)	1	2	3	2	2	1	1	3	▲0	5
営業利益	22	8	30	15	43	22	44	67	37	47
SE	21	7	28	18	39	29	33	62	33	-
FE	1	▲1	0	▲2	▲1	▲4	2	▲2	▲2	-
MP	4	5	10	4	12	4	14	19	8	-
その他および調整額	▲4	▲4	▲8	▲5	▲7	▲6	▲5	▲12	▲3	-
経常利益	22	3	26	14	43	23	42	65	39	45
当期(四半期)純利益	16	▲1	15	6	31	15	31	46	30	30

*SEは半導体機器事業、FEはFPD機器事業、MPはメディアアンドプレシジョンテクノロジー事業を示しています。

業績サマリー<2015年3月期 第2四半期>

>>前年同期比較

(単位:億円)	2014年3月期 2Q		2015年3月期 2Q		前年同期比 (15/3 2Q - 14/3 2Q)	
	売上高	518	100.0%	600	100.0%	81
営業利益	8	1.6%	44	7.5%	36	446.5%
経常利益	3	0.8%	42	7.0%	38	979.7%
四半期純利益	▲1	-0.2%	31	5.2%	32	-

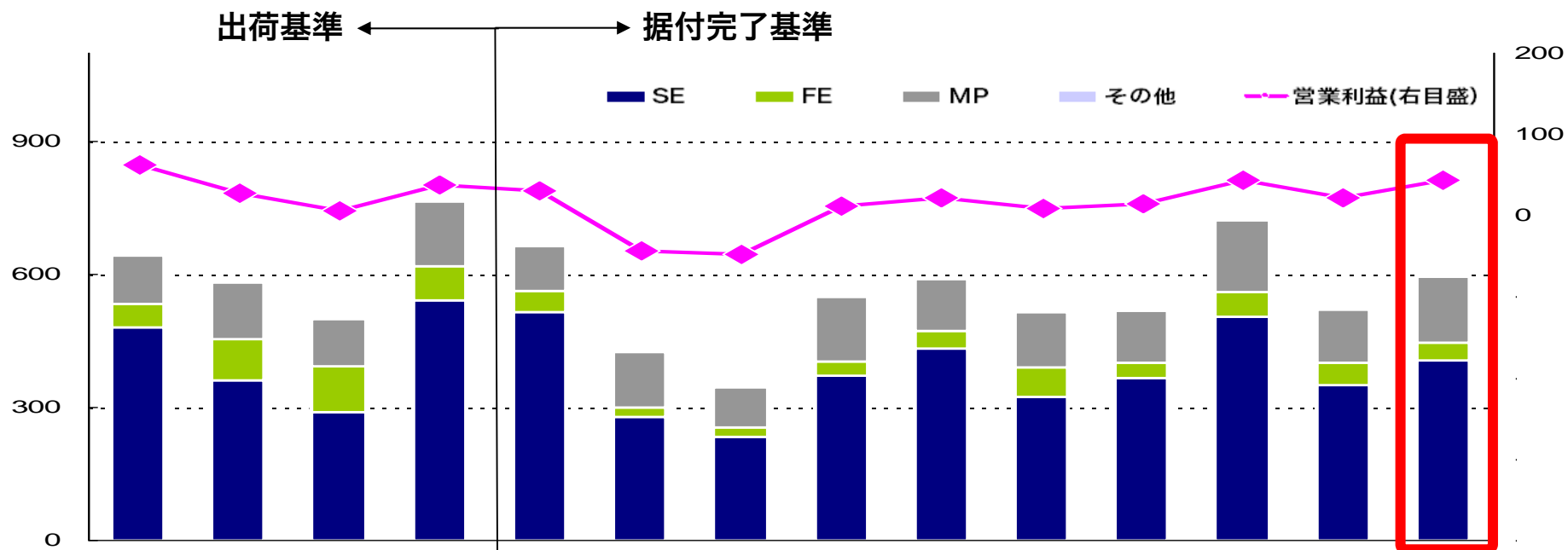
>>前四半期比較

(単位:億円)	2015年3月期 1Q		2015年3月期 2Q		前四半期比較 (15/3 2Q - 15/3 1Q)	
	売上高	524	100%	600	100.0%	75
営業利益	22	4.3%	44	7.5%	22	100.8%
経常利益	23	4.5%	42	7.0%	18	78.4%
四半期純利益	15	2.9%	31	5.2%	15	103.0%

売上高/営業利益 四半期推移<連結>

売上高
(単位：億円)

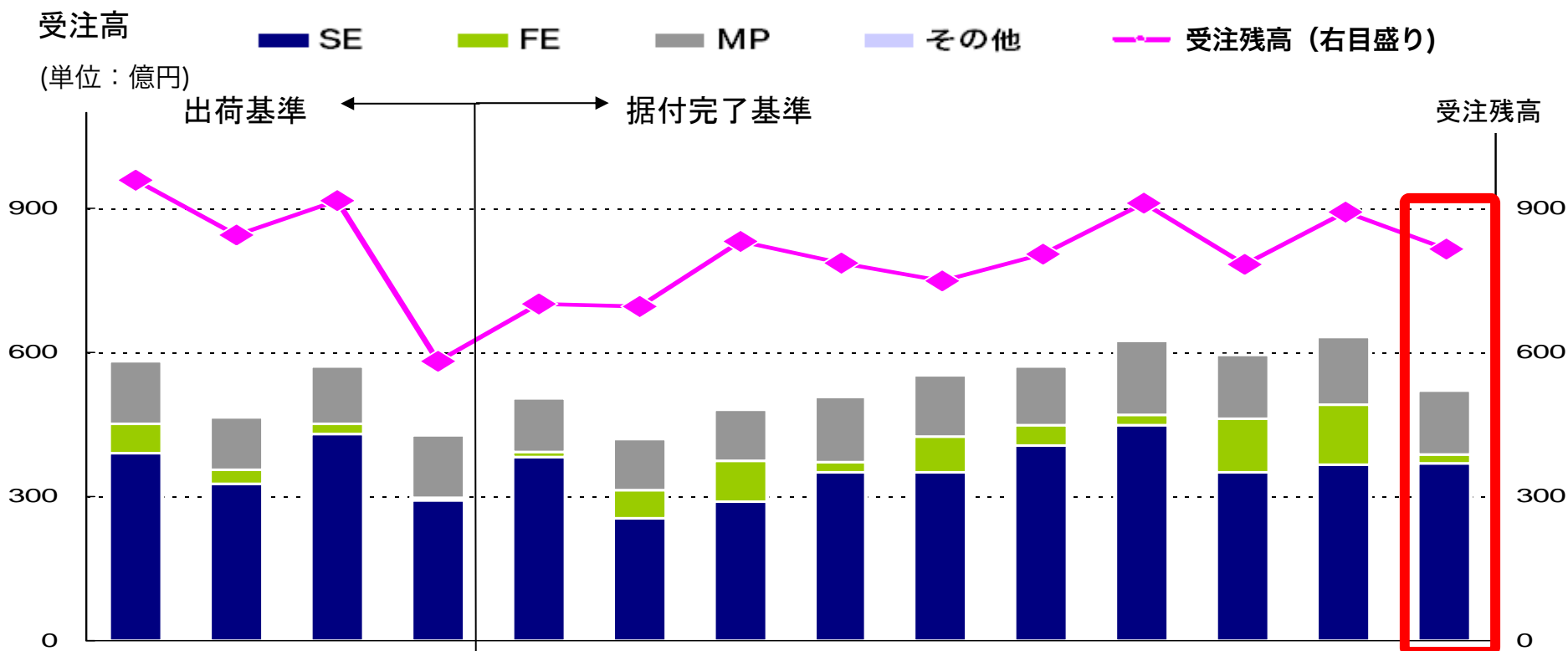
営業利益



	2012/3期				2013/3期				2014/3期				2015/3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高														
SE	482	361	289	542	516	280	235	373	433	323	367	506	351	406
FE	51	93	104	77	48	20	20	30	41	68	33	55	49	40
MP	110	128	106	146	99	125	90	147	116	124	117	162	121	150
営業利益	62	27	6	38	31	▲44	▲48	12	22	8	15	43	22	44

* 2013年3月期のSE、FEは、据付完了基準を遡及適用して記載しています。

受注高/受注残高の四半期推移<連結>



受注高	2012/3期				2013/3期				2014/3期				2015/3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
SE	391	328	431	292	382	254	290	350	351	407	450	351	366	369
FE	61	27	20	6	11	60	84	23	73	42	21	110	125	20
MP	129	111	121	131	112	105	108	134	129	122	153	134	141	132
受注残高	960	844	917	581	701	695	831	787	750	806	912	784	893	817

* 2013年3月期のSE、FEは、据付完了基準を遡及適用して記載しています。

セグメント別・業績概況<SEセグメント>

>>前年同期比較

(単位:億円)

	2014年3月期 2Q		2015年3月期 2Q		前年同期比 (15/3 2Q - 14/3 2Q)	
売上高	323	100.0%	406	100.0%	83	25.8%
営業利益	7	2.4%	33	8.2%	25	324.4%

>>前四半期比較

(単位:億円)

	2015年3月期 1Q		2015年3月期 2Q		前四半期比較 (15/3 2Q - 15/3 1Q)	
売上高	351	100.0%	406	100.0%	55	15.8%
営業利益	29	8.3%	33	8.2%	4	15.2%

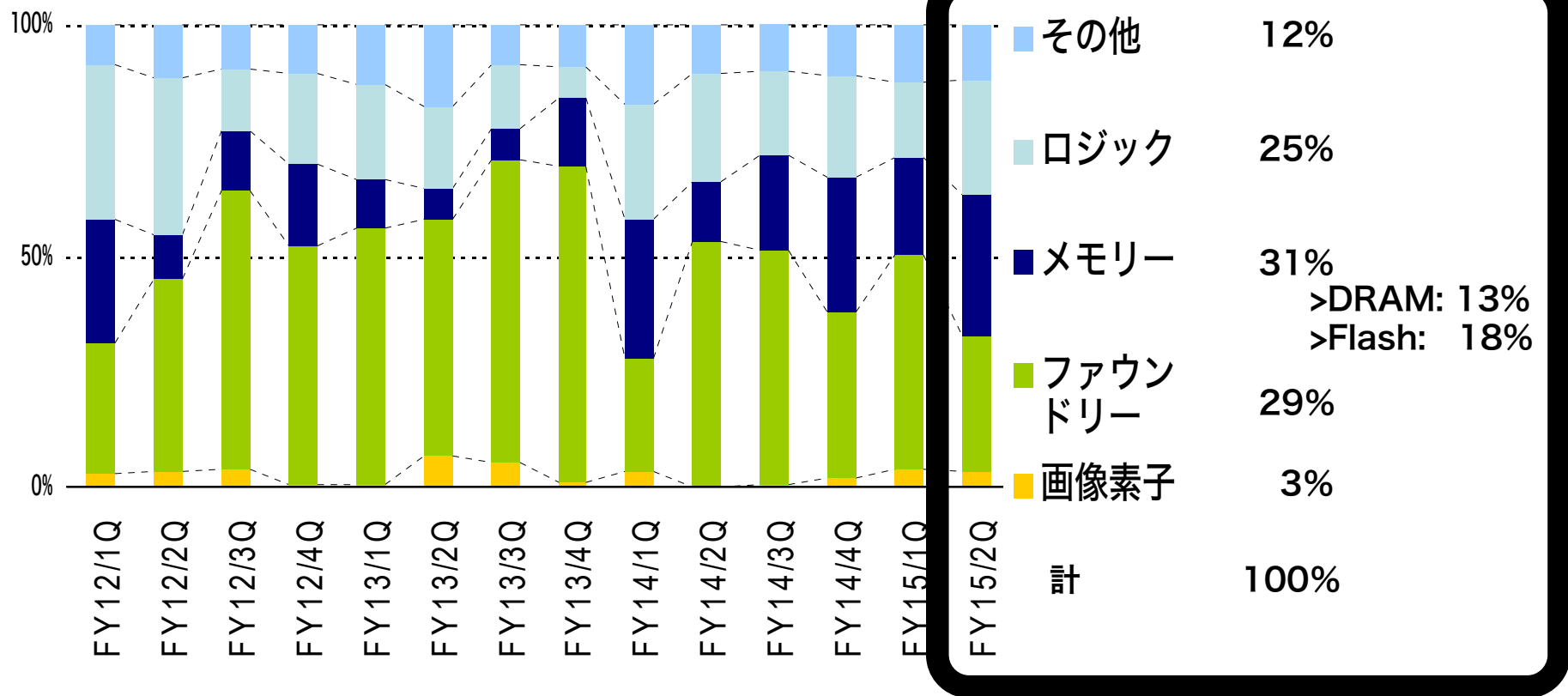
トピックス

- ・前年同期比:売上増加に加え、変動費率改善により営業利益率が大幅に改善
- ・前四半期比:たな卸資産評価損、固定費は増加したが、売上増加、変動費率改善により増益
- ・受注:ファウンドリーの減少をメモリー、ロジックの増加でカバー
3Qはファウンドリーがけん引し、2Q比増加を見込む
- ・事業環境: 微細化投資により、堅調な市場環境の継続を予想

受注比率・四半期推移<SEセグメント・デバイス別単独>

>>単独・デバイス別受注比率

*ご参考:連結・受注高(369億円)



>>単独・2Q地域別受注比率

*FY12/2Qよりパーツをその他に含めている



セグメント別・業績概況<FEセグメント>

>>前年同期比較

(単位:億円)

	2014年3月期 2Q		2015年3月期 2Q		前年同期比 (15/3 2Q - 14/3 2Q)	
売上高	68	100.0%	40	100.0%	▲27	▲40.4%
営業利益	▲1	-1.5%	2	5.3%	3	-

>>前四半期比較

(単位:億円)

	2015年3月期 1Q		2015年3月期 2Q		前四半期比較 (15/3 2Q - 15/3 1Q)	
売上高	49	100.0%	40	100.0%	▲9	▲18.3%
営業利益	▲4	-8.3	2	5.3%	6	-

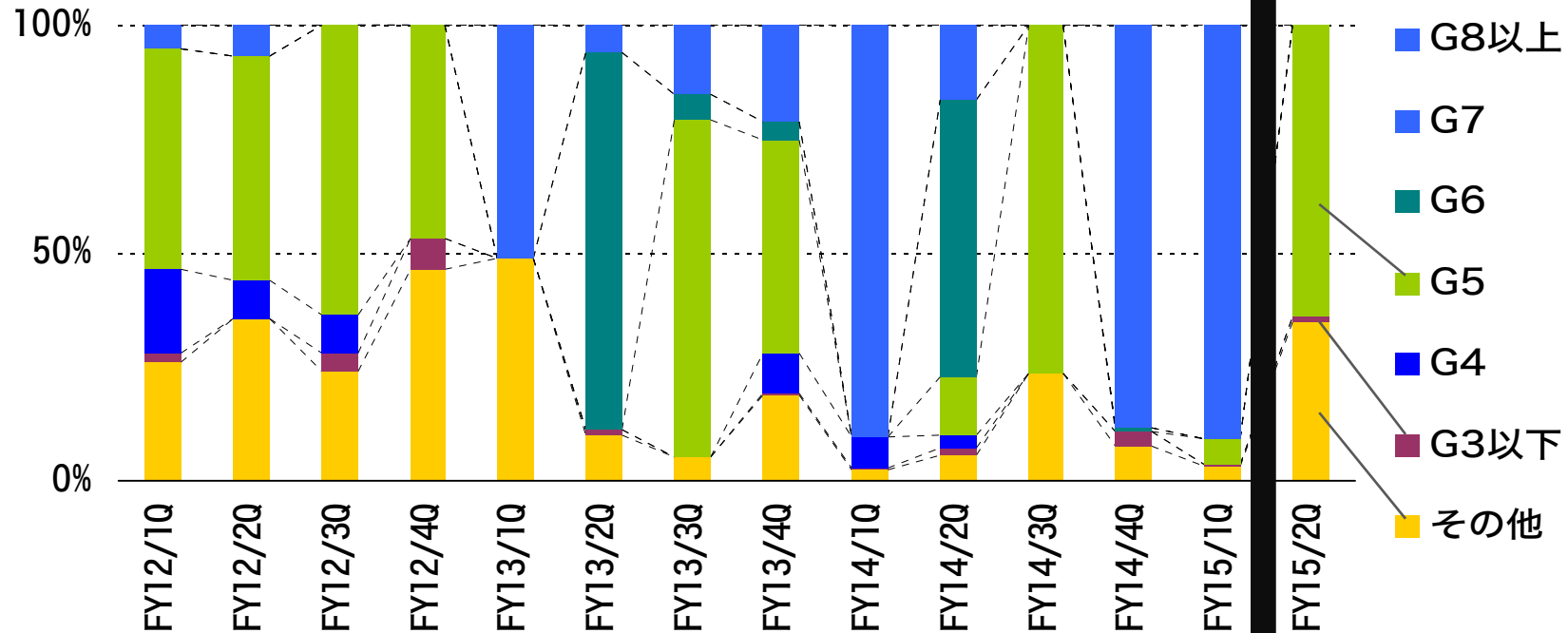
>>トピックス

- ・売上・利益: 前年同期比で、売上は減少するも、営業利益は改善。中国向け大型TV用および日本向け中小型が中心。4Qに大幅に増加予想
- ・受注: 前2四半期(2014年1月~6月)続いた好調な受注は、2Qでは一服(想定内)3Qには、中国向けおよび中小型向け(日本、アジア)による回復を見込む
- ・事業環境: 中国での投資は大型パネル用から中小型用へシフト。台湾でも投資再開の動き

受注比率・四半期推移<FEセグメント・世代別単独>

>>単独・製品サイズ別受注比率

*ご参考:連結・受注高(20億円)



*FY12/4Qはグロスにて算出

>>単独・2Q地域別受注比率



セグメント別・業績概況<MPセグメント>

>>前年同期比較

(単位:億円)

	2014年3月期 2Q		2015年3月期 2Q		前年同期比 (15/3 2Q - 14/3 2Q)	
売上高	124	100.0%	150	100.0%	26	21.1%
営業利益	5	4.8%	14	9.7%	8	147.0%

>>前四半期比較

(単位:億円)

	2015年3月期 1Q		2015年3月期 2Q		前四半期比較 (15/3 2Q - 15/3 1Q)	
売上高	121	100.0%	150	100.0%	28	23.6%
営業利益	4	3.7%	14	9.7%	10	228.9%

>>トピックス

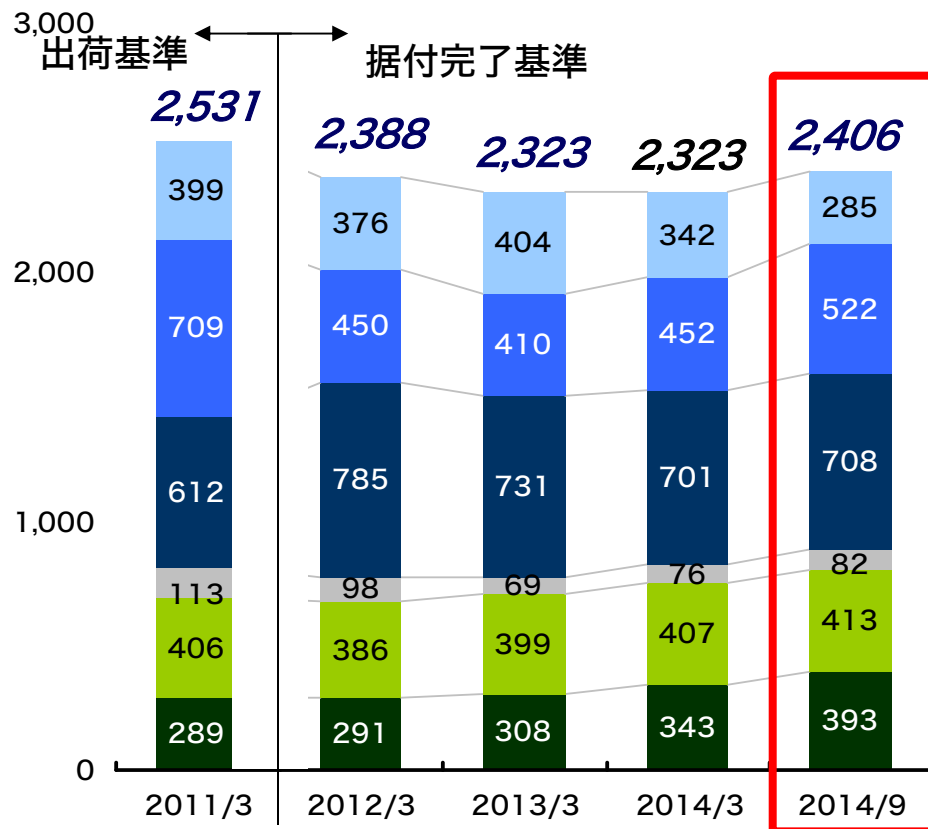
- ・売上: MT:2Q前年同期比で26億円増加。日本、英国でCTP販売が堅調に推移
円安による為替の影響も追い風
PE: 高いスマホ需要により、直接描画装置が増加
- ・営業利益: MT:円安効果に加え、海外販社の収益改善も貢献
- ・事業環境: MT:CTPの国内入れ替え需要が継続中。PODは欧州で回復兆し

貸借対照表<連結>

資産

(単位：億円)

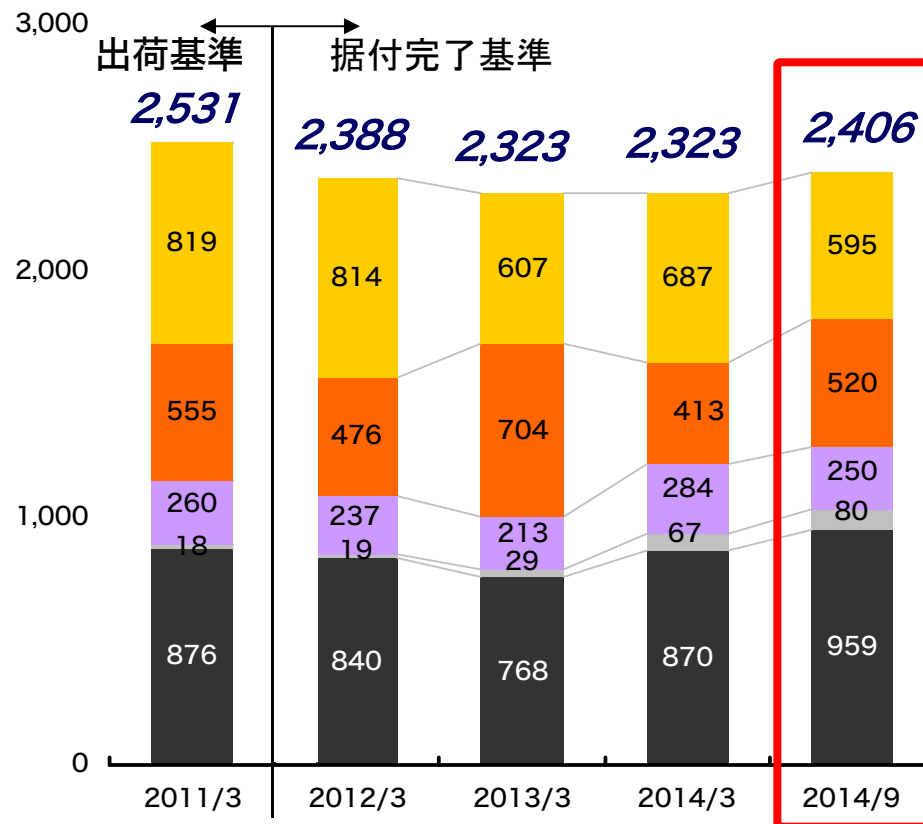
- 現金・預金
- 受取手形・売掛金
- たな卸資産
- その他の流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産・投資ほか



負債および純資産

(単位：億円)

- 支払手形・買掛金
- 有利子負債
- その他流動負債
- その他固定負債
- 純資産



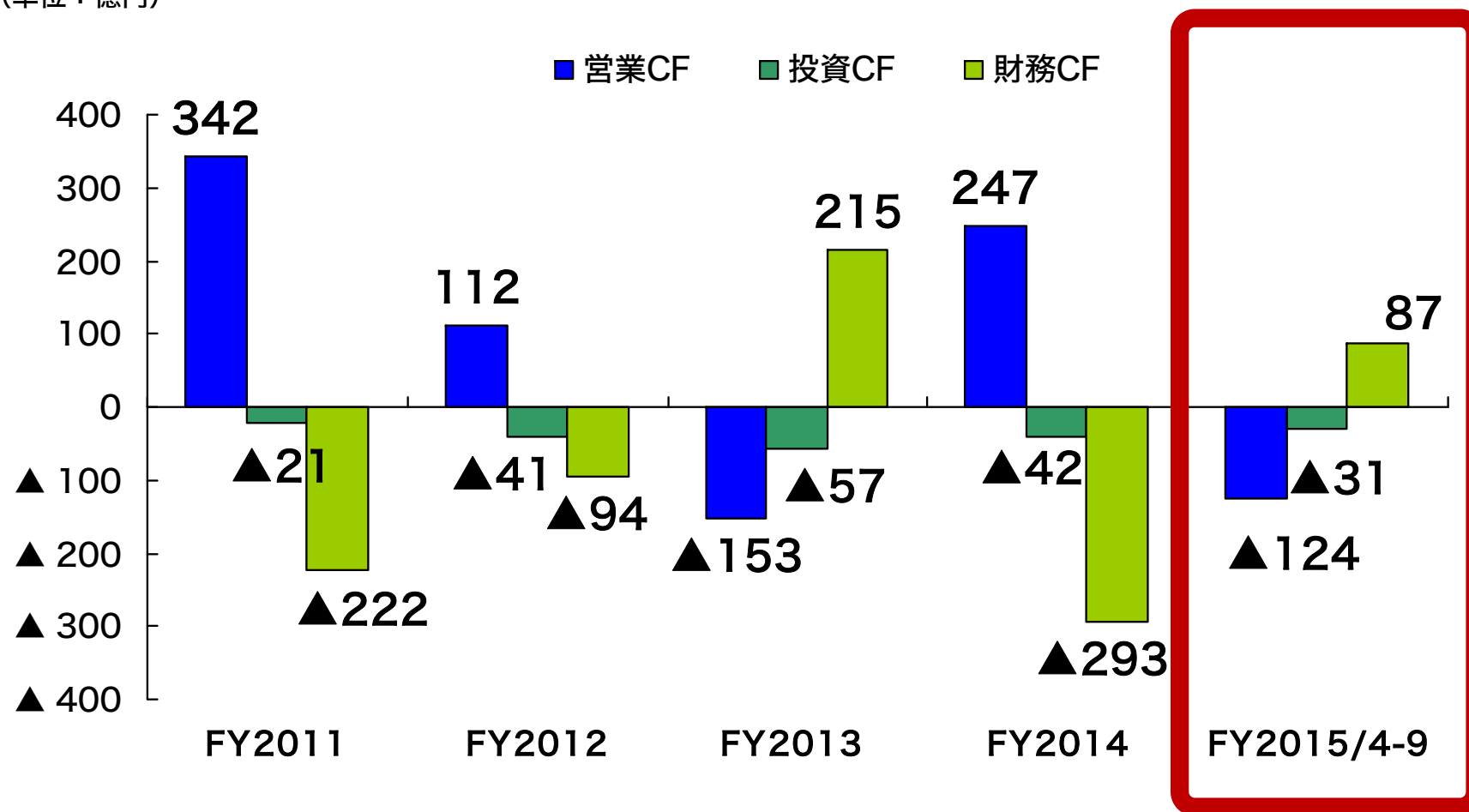
自己資本比率 37.2% (2014/3) → 39.6% (2014/9)

*2012/3、2013/3は、据付完了基準を遡及適用して記載しています。

キャッシュ・フロー<連結>

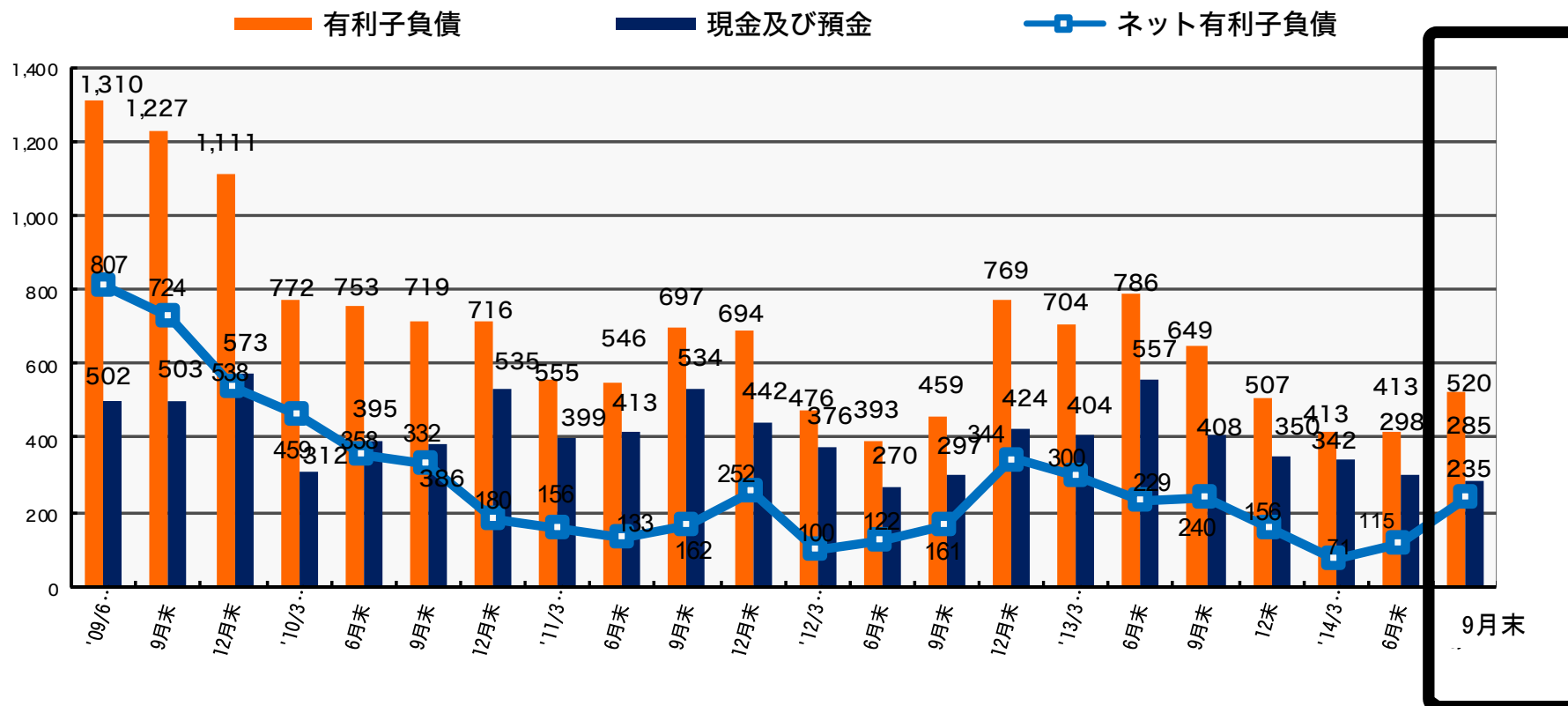
>>2Q累計・フリーキャッシュ・フロー： ▲155億円

(単位：億円)



有利子負債推移<連結>

(単位:億円)



>>2015年3月期 9月末

■有利子負債:	520億円
■現金及び預金:	285億円
■ネット有利子負債:	235億円

企業価値向上に向けて

企業価値向上

中期経営計画

(中長期の成長戦略と位置付け)

「Challenge2016」

1. 収益構造改革の完遂
2. 新規領域での事業化
3. 財務体質の強化

ROEを高める経営

→JPX400への組入れを目指す

利益率向上、バランス
のとれた株主資本コン
トロール

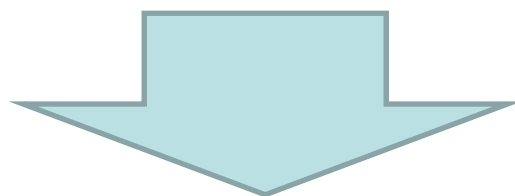
FCFの最大化

→格付改善を目指す

成長投資の原資確保
財務耐久性の強化

1. 収益構造改革完遂、高収益体質へ

- ① 主要機種に特化し限界利益を拡大
- ② プロダクトミックスの改善
- ③ 予兆管理と迅速な対応の徹底



2015年3月期上期で一部効果が顕在化

2. 新規事業領域での事業化

① ライフサイエンス

3D細胞スキャナ：新製品リリース、錠剤インクジェット印刷機：来年3月製品化
バイオベンチャーとの共同開発進行中

② 検査計測

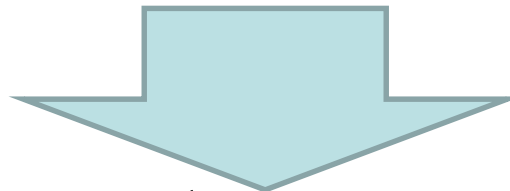
車載用部品用のデモ機にて内覧会開催、潜在顧客の反応は上々

③ エネルギー

塗布・成膜技術をベースに複数アプリケーションで進行中

④ プリンテッドエレクトロニクス

プロセス技術開発中。前後工程の装置とプロセス技術提供が強み

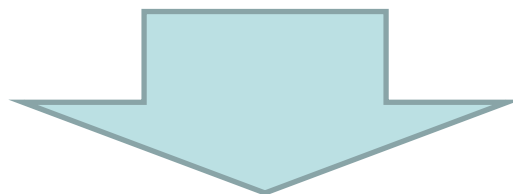


テーマごとに進捗にはばらつきはあるが、HD化に伴い、
開発・マーケティング・営業が一体となって事業化を加速

3. 財務体質の強化

- ① 運転資本の圧縮
- ② 資産の効率化
- ③ 純有利子負債削減

在庫水準
製品リードタイム
売掛債権額
CCC*
などの指標で管理



分社により、事業特性に合わせてきめ細かく管理徹底

CCC*: Cash Conversion Cycle

2015年3月期業績予想

(単位：億円)	2014/3期	2015/3期				
	通期	上期	下期(予想)		通期(予想)	
	実績	実績	8月発表	11月発表	8月発表	11月発表
売上高	2,359	1,124	1,280	1,295	2,410	2,420
S E	1,631	757	815	862	1,585	1,620
F E (FT*)	198	90	180	144	270	235
M P (GP*)	521	272	275	282	540	555
OT	8	3	10	6	15	10
営業利益	89	67	65	79	112	147
経常利益	83	65	60	76	105	142
当期純利益	54	46	53	65	83	112

●想定為替レート>> 1米ドル=105円、1ユーロ=135円

●年間配当金予想>> 期末配当1株当たり5円(5月発表予想から変更なし)

*注>> FT:旧「FPD機器事業」→ ファインテックソリューション事業(FT)

GP:旧「メディアアンドプレジジョンテクノロジー事業」

→ グラフィックアンドプレジジョンソリューション事業(GP)

- >>持株会社体制への移行完了
- >>収益構造改革は順調に進捗中
- >>半導体製造装置、FPD製造装置の両市場環境とも堅調に推移する見通し
- >>中期経営計画を含めて、企業価値向上に向けたプログラム策定

SCREEN

Fit your needs, Fit your future

